

(学年) 第2学年、(教科・科目) 芸術科・書道 I

一斉学習

(単元) 生活の中の書

(本時のねらい)

「今後は日常生活に即役立つような学習がしたい」という生徒たちからのリクエストがあり、本単元では実用的な書の学習を設定した。前時は、年賀状の書き方を学び、手作りの年賀状を作成する学習活動を行った。本時は調べ学習を行い、慶事用の書き方・マナーについて理解させる。その後、金封に書く練習をして実物に書いたり、半紙を折って中袋を作り、金色の画用紙をお札を見立てて入れたりする。そして、中袋にも金額や住所・氏名等を記入し、中袋を金封に入れて完成させるという一連の作業を行えるようにしたい。

(ICT活用方法)

慶事用金封の書き方・マナーについて、わかりやすくまとめられたサイトを紹介し、生徒各自の一人一台端末にて調べ学習をする。数ある情報の中で、必要な情報のみ要領よく押さえ、ワークシート NO1 の空欄 A～D に入る言葉を記入させる。この活動を通して、慶事用金封の特徴や書き方、マナーをしっかりと理解させることで、その後の実践的活動を円滑に行えるようにしたい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標や学習内容と進め方について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標や学習の内容と進め方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名、本時の目標、本時の学習内容と進め方を電子黒板に板書する。
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・慶事用金封の書き方・マナーについて、一人一台端末を用いてインターネットで検索する。 ・ワークシート NO1 の空欄 A～D に記入する。 ・調べた結果を発表する。 ・表書きと自分の氏名を書く練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート NO1 を配布する。 ・慶事用金封の書き方・マナーについて、わかりやすくまとめられたサイトを紹介する。 ・発表の際には、要点を補足説明する。 ・ワークシート NO2 を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慶事用金封の書き方・マナーについて、生徒各自が一人一台端末を用いて調べる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・実物の慶事用金封に小筆で書く。 ・半紙を折って中袋を作る。 ・中袋の表裏に必要事項を書く。 ・金封で中袋を包む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左側の記入例を見て、右側に練習するよう、伝える。 ・見本を渡し、金色の画用紙をお札と見立てて包むよう、伝える。 ・見本をよく見て、表には旧字体の漢数字で金額を、裏には住所や氏名を書くよう、伝える。 ・向きや包み方にも注意を促す。 	
<p>まとめ 2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容と、次の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慶事用の要点を説明し、次回は弔事用の書き方 ・マナーを学習することを伝える。 	

(授業の様子)



生徒各自の一人一台
端末で調べ学習をする
様子 (左側はワークシート)

実物の慶事用金封に
小筆で書いている様子

見本を参考に、半紙で中袋を
折り、小筆で表書きをする様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

本時の主な学習活動は、実物の金封に小筆で書いたり、半紙を折って中袋を作り、中袋にも金額や住所・氏名等を記入したりと、完成するまでの一連の作業を行うことである。40分という時間の制約があるため、慶事用金封の書き方・マナーを要領よく理解させる必要があった。事前にワークシートを作り調べる情報を少なくしたことで、生徒にとって取り組みやすく、要点をつかみやすいようであった。そして、その後の実践的活動も円滑に進んだ。今後も書道とICTを組み合わせ、学習の効果の上がる方法を考えていきたい。